

名古屋市、豊橋市及び岡崎市と同時発表

平成22年9月2日(木)

愛知県環境部大気環境課調整・生活環境グループ

担当 元山、松橋

内線 3030、3031 電話 052-954-6214(ダイヤルイン)

平成21年度交通騒音・振動調査結果について

愛知県及び名古屋市他5市（豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市及び豊田市）が騒音規制法第18条第1項に基づき実施した自動車騒音の常時監視結果を、同法第19条に基づきお知らせします。また、本県及び関係市町村が実施した、要請限度が定められている自動車騒音及び道路交通振動、環境基準等が定められている新幹線鉄道騒音・振動並びに航空機騒音の調査結果についても併せてお知らせします。

調査結果の概要

1 自動車騒音・道路交通振動

(1) 自動車騒音の環境基準^{*1}の達成状況

- ・ 主要幹線道路沿いの618区間で面的評価を行い、評価区間内の全戸数363,625戸中332,378戸で環境基準を達成し、達成率は91.4%でした。

(2) 自動車騒音の要請限度^{*2}の超過状況

- ・ 208地点中18地点で要請限度を超過し、その割合は8.7%でした。

(3) 道路交通振動の要請限度^{*2}の超過状況

- ・ 84地点の全調査地点で要請限度を超過しませんでした。

(評価・対策)

- ・ 自動車騒音に係る環境基準及び要請限度の調査結果については、各年で関係市町村が評価の対象としている住居等の違いを考慮する必要がありますが、改善傾向にあります。また、道路交通振動に係る要請限度を超過した地点はありません。
- ・ 自動車騒音対策については、「あいち新世紀自動車環境戦略（平成14年）」などにより、国、県等の機関がそれぞれの役割分担のもと連携して環境対策を進めています。

2 新幹線鉄道騒音・振動

(1) 騒音に係る環境基準の達成状況

- ・ 78地点中56地点で環境基準を達成し、達成率は71.8%でした。

(2) 振動に係る指針値^{*3}の達成状況

- ・ 30地点中29地点で指針値を達成し、達成率は96.7%でした。

(評価・対策)

- ・ 騒音については、前年度に比べ環境基準の達成率が上がっています。
- ・ 振動については、1地点で指針値を超過しましたが、事業者が橋梁補強等の対策を進めております。
- ・ 県では、騒音に係る環境基準及び振動に係る指針値の早期達成に向け、毎年度、新幹線鉄道事業者に騒音等の対策の実施を要望しており、事業者は車両対策や防音壁設置、レール削正等の地上対策などを進めております。

3 航空機騒音

(1) 県営名古屋空港に係る環境基準の達成状況

- ・ 17地点中8地点で環境基準を達成しました。このうち、県営化前（平成16年度以前）から継続調査している地点では、9地点中5地点で環境基準を達成しました。

(2) 中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果

- ・ 5地点で調査を行い、すべての地点で環境基準を達成しました。
- ・ 環境基準の地域類型を指定した地域外の2地点について、いずれも環境基準値(WECPNL^{※4}70)を下回りました。

(評価・対策)

- ・ 県営名古屋空港について、短期調査（1～2週間程度）地点で環境基準未達成が2地点増加しましたが、これは通年調査地点に前年度より高いWECPNL値を示す地点がなかったことから、短期的な飛行回数の変動等によるものと考えられます。

県営名古屋空港では、運用時間（午前7時～午後10時）外の利用禁止、騒音に配慮した運航方式の徹底等の発生源対策とともに、住宅防音工事等の周辺環境対策事業を実施しています。

- ・ 中部国際空港について、開港以来継続して、いずれの地点でも環境基準値を下回っています。

※1 環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準

※2 要請限度：道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認められるとき、市町村長が関係機関に措置をとるよう要請する際の基準

※3 振動に係る指針値：緊急に振動源対策及び障害防止対策等を講じることが必要とされている新幹線鉄道振動の指針値（70デシベル）で、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月環境庁（当時））により勧告されている。

※4 WECPNL：航空機騒音を評価する指標で、1日における各航空機の最大騒音レベルをパワー平均したものに、時間帯ごとに重み付けした航空機数を加味し算出した値

第1 自動車騒音・道路交通振動調査

1 自動車騒音の環境基準の達成状況

(1) 調査期間 平成21年4月から平成22年3月まで

(2) 調査機関

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市、豊田市（1県6市）

(3) 調査結果

主要幹線道路沿いの618区間で環境基準の評価を行った結果は表1のとおりです。

表1 面的評価による環境基準達成率

評価区間数	全評価戸数	環境基準達成戸数	環境基準達成率
618	363,625	332,378	91.4%

(注) 自動車騒音の環境基準については別添資料集P.3を参照。

2 自動車騒音の要請限度の超過状況

(1) 調査期間 平成21年4月から平成22年3月まで

(2) 調査機関

愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、小牧市、東海市、大府市、知立市、岩倉市、豊明市、日進市、弥富市、みよし市、豊山町、飛島村、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町

(1県31市町村)

(3) 調査結果

208地点で調査を行った結果は表2のとおりです。

なお、騒音レベルの高い地点は、表3のとおりです。

表2 要請限度超過状況

調査地点数	要請限度超過地点数	要請限度を超過した割合
208	18	8.7%

(注) 自動車騒音の要請限度については別添資料集P.4を参照。

表3 騒音レベルの高い地点

区分	路線名	調査地点	測定値	要請限度
昼間	一般国道247号	蒲郡市三谷町東1丁目	78dB	75dB
	一般国道23号	蒲郡市大塚町平原	77dB	
	一般国道23号	豊川市御津町下佐脇洗出	76dB	
	一般国道23号	弥富市狐地1丁目	76dB	
	市道十舗新井前1号線	蒲郡市府相町端廻	76dB	
夜間	一般国道247号	蒲郡市三谷町東1丁目	77dB	70dB
	一般国道23号	弥富市狐地1丁目	77dB	
	市道十舗新井前1号線	蒲郡市府相町端廻	77dB	

3 道路交通振動の要請限度の超過状況

(1) 調査期間 平成21年4月から平成22年3月まで

(2) 調査機関

愛知県、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、東海市、知立市、岩倉市、豊明市（1県11市）

(3) 調査結果

全調査地点84地点で要請限度を超過しませんでした。

(注) 道路交通振動の要請限度については別添資料集P.6を参照。

第2 新幹線鉄道騒音・振動調査

1 調査期間 平成21年4月から平成21年10月まで

2 調査機関 愛知県、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び一宮市（1県4市）

3 調査結果

(1) 騒音に係る環境基準の達成状況

78地点（沿線14市町）で調査を行った結果は表4のとおりです。

なお、騒音レベルの高い地点は、表5のとおりです。

表4 環境基準達成率

調査地点数	環境基準達成地点数	環境基準達成率
78	56	71.8%

(注) 新幹線騒音の環境基準については別添資料集P.9を参照。

表5 騒音レベルの高い地点

調査場所	測定値	環境基準
大府市神田町（25m）	74dB	70dB
安城市古井町（25m）	74dB	
岡崎市正名町（25m）	74dB	
岡崎市合 <small>ねむのき</small> 歡木町（25m）	74dB	

(注) () 内は軌道中心から調査地点までの距離を示す。

(2) 振動に係る指針値の達成状況

30地点（沿線9市町）で調査を行った結果は表6のとおりです。

表6 指針値達成率

調査地点数	指針値達成地点数	指針値達成率
30	29	96.7%

(注) 新幹線振動の指針値については別添資料集P.9を参照。

第3 航空機騒音調査

1 県営名古屋空港に係る調査

(1) 調査期間 平成21年4月から平成22年3月まで

(2) 調査機関

愛知県、名古屋市及び春日井市（1県2市）

(3) 調査結果

17地点で調査を行った結果は表7のとおりです。

また、県営化前から調査をしている地点の調査結果については表8のとおりです。

表7 環境基準達成地点数

調査地点数	環境基準達成地点数
17	8

表8 県営化前から継続して調査している地点における環境基準達成地点数

調査地点数	環境基準達成地点数
9	5

(注) 航空機騒音に係る環境基準については別添資料集P. 11を参照。

2 中部国際空港に係る調査

(1) 調査期間 夏季（平成21年6月から7月）及び冬季（平成22年1月から3月）

(2) 調査機関 愛知県

(3) 調査結果

7地点で調査を行った結果は表9のとおりです。

表9 環境基準達成地点数

環境基準の地域類型を指定した地域内	調査地点数	環境基準達成地点数
	5	5
環境基準の地域類型を指定した地域外	調査地点数	環境基準値を下回った地点数
	2	2

(注) 航空機騒音に係る環境基準については別添資料集P. 11を参照。

<参考> 過去3年間の調査結果の推移

表10 自動車騒音に係る環境基準達成率

	評価区間数	全評価戸数	環境基準達成戸数	環境基準達成率
平成19年度	374	215,074	186,309	86.6%
平成20年度	577	346,384	314,771	90.9%
平成21年度	618	363,625	332,378	91.4%

(注) 平成20年度は、名古屋市内の評価区間数等が大幅に増加した。

表11 自動車騒音に係る要請限度を超過した割合

	調査地点数	要請限度超過地点数	要請限度を超過した割合
平成19年度	193	24	12.4%
平成20年度	201	22	10.9%
平成21年度	208	18	8.7%

表12 道路交通振動に係る要請限度を超過した割合

	調査地点数	要請限度超過地点数	要請限度を超過した割合
平成19年度	77	0	0%
平成20年度	80	0	0%
平成21年度	84	0	0%

表13 新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成率

	調査地点数	環境基準達成地点数	環境基準達成率
平成19年度	78	41	52.6%
平成20年度	78	51	65.4%
平成21年度	78	56	71.8%

表14 新幹線鉄道振動に係る指針値達成率

	調査地点数	指針値達成地点数	指針値達成率
平成19年度	30	30	100%
平成20年度	30	28	93.3%
平成21年度	30	29	96.7%

表15 県営名古屋空港の航空機騒音に係る環境基準達成地点数（全調査地点）

	調査地点数	環境基準達成地点数
平成16年度（県営化前）	24	10
平成17年度	22	13
平成18年度	18	7
平成19年度	18	11
平成20年度	17	10
平成21年度	17	8

（注）県営名古屋空港は平成17年2月17日に開港した。

表16 県営名古屋空港の航空機騒音に係る環境基準達成地点数（継続調査地点）

	調査地点数	環境基準達成地点数
平成16年度（県営化前）	9	1
平成17年度	9	5
平成18年度	9	4
平成19年度	9	6
平成20年度	9	6
平成21年度	9	5

表17 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準達成地点数
（環境基準の地域類型を指定していない地点も含む）

	調査地点数	環境基準達成地点数（環境基準値を下回った地点数）
平成19年度	7	7
平成20年度	7	7
平成21年度	7	7

（注1）平成18年3月31日に環境基準の地域の類型を当てはめる地域の指定を告示した。

（注2）中部国際空港は平成17年2月17日に開港した。